

日本財団と海外障害者支援について -情報アクセスを中心に-

日本財団 石井靖乃

2012年4月21日

日本財団

- ◆ 競艇の収益の2.5%を様々な公益活動に助成
- ◆ 年間予算 約300億円
- ◆ 助成金総額 約234億円
- ◆ 海外協力援助 40億円

国際協カグループ

- ◆ 3チーム 合計24人（嘱託、アルバイト含）
- ◆ 様々な事業分野、世界中が対象
- ◆ 障害者支援
 - メンバー5人のチーム
 - 年間約 20事業 5億円

日本財団国際協力グループによる 世界の障害者支援

- ◆ 自助・自立の精神に基づく取り組みを促すために当事者リーダーを育成する
- ◆ 国際的ネットワークづくりを進める
- ◆ 障害者の教育、雇用の幅を広げるために、情報コミュニケーション技術を最大限に活用する

※現在海外への支援は身体障害に絞っている

聴覚障害者のための国際大学ネットワーク

ロチェスター工科大学 NTID

- ◆ 聴覚障害学生プログラムのある大学のネットワーク (PEN-International)
- ◆ PEN-Internationalの本部は米国のNTID
- ◆ 日本、中国、ロシア、フィリピン、タイ、チェコ、韓国の大学や機関が参加
- ◆ 教員研修や交流事業

アジア諸国手話辞書の作成

香港中文大学

◆第一期 2007年8月まで

- 香港、ベトナム、カンボジア、フィリピン各国で基礎的な手話言語学指導実施
- 手話辞書と教材の作成

◆第二期 2007年9月から

- 香港中文大学で実施
- スリランカ、インドネシア、フィジー、香港、日本の学生が学んでいる

ベトナムのろう者に対する高等教育の提供

ドンナイ教育大学

- ◆ 手話による成人対象の一般中高等教育
- ◆ ベトナム手話分析法の大学レベルの資格コース
- ◆ ベトナム手話教授法の大学レベルでの資格コース
- ◆ 手話通訳者の育成
- ◆ 現在約40人在学、今年初の大学卒業生

聴覚障害者のための奨学金事業

◆ 日本 ASL協会

- 日本財団聴覚障害者海外奨学金

◆ ギャロデット大学

- Sasakawa Scholarship Fund
- World Deaf Leadership Scholars Fund

◆ NTID

- Sasakawa Scholarship Fund

視覚障害者教育における情報アクセスのためのオーバールック日本ネットワーク基金

- ◆ オーバールック盲学校（米国、フィラデルフィア）との協力による情報アクセス技術普及のプログラム
- ◆ 東南アジア8カ国、主に初中等教育対象
- ◆ 各国のニーズに応じた人材育成、ネットワーク事業、機器整備

視覚障害大学生支援プログラム 国際視覚障害教育協議会 (ICEVI)

- ◆ インドネシア、フィリピン、ベトナム、カンボジアで実施中
- ◆ 大学で学ぶ視覚障害学生支援のために各国の大学、DPO等を支援
- ◆ 情報アクセス支援と大学教職員の理解啓発

これらの事業を通して目指すもの

- ◆ Nothing about us without us.
- ◆ 教育、雇用、情報通信技術、国際協力など様々な分野の活動すべてにおいて、当事者自らが参加し問題解決の中心的役割を果たせるように多くの人材を育成する